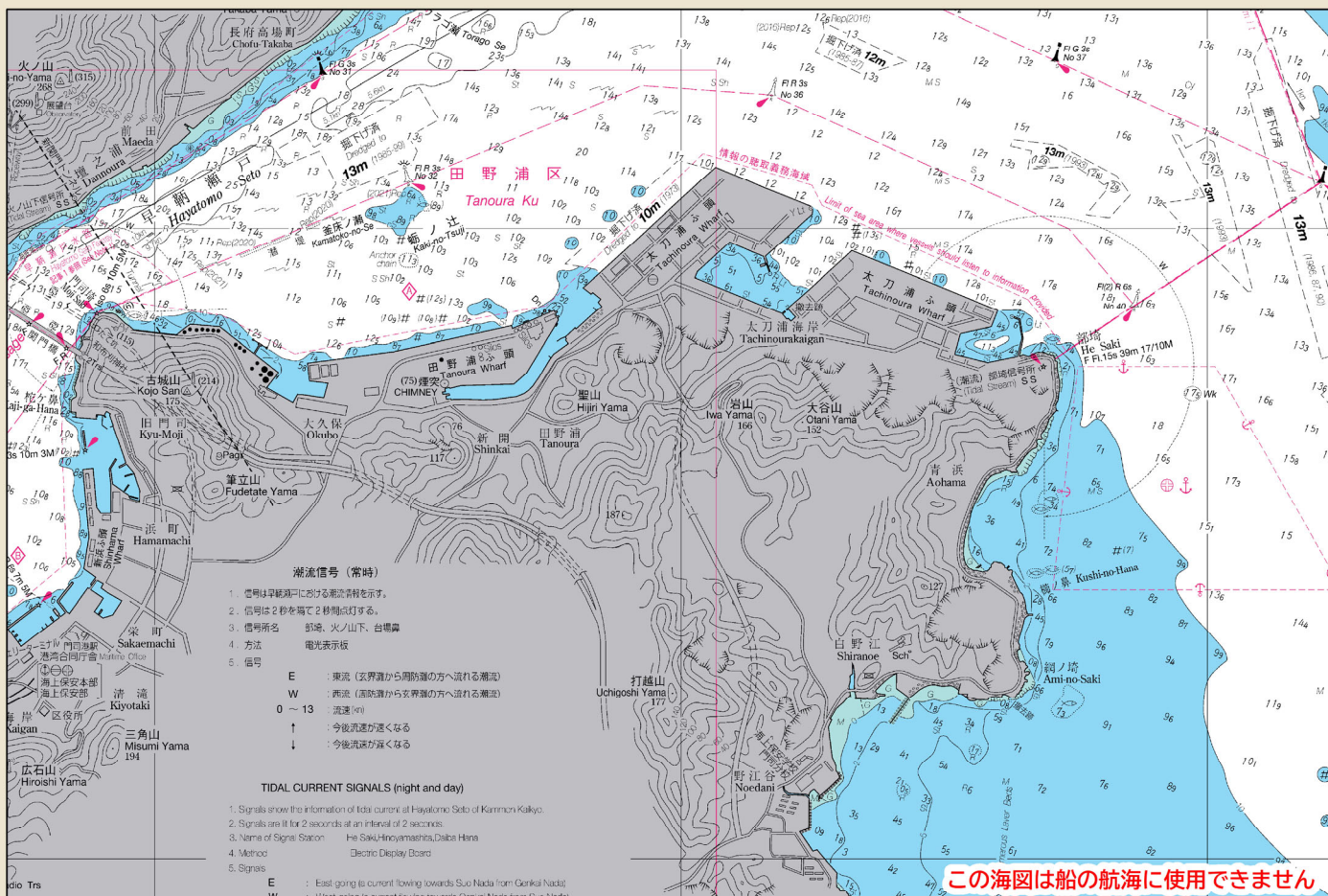


# 海図でみる関門海峡の発展（部埼灯台付近）



明治38年（1905年）頃の部埼灯台付近（明治33年水路部刊行第三百三十五号「下関海峡」 海上保安庁所蔵）



令和4年（2022年）の部埼灯台付近（平成31年海上保安庁刊行W135「関門海峡」）

○明治時代と現在では、海岸線以外に海の深さ（水深）も工事で大きく変化しています。比べてみましょう。  
 ○明治時代は、水深をフアザムという単位で記載していました。現在はメートルを使用しています。1フアザムは1.83メートルです。



第七管区海上保安本部  
 門司海上保安部